

# 東北地方 1 か月予報

( 1 月 2 1 日から 2 月 2 0 日までの天候見通し )

平成 1 8 年 1 月 2 0 日  
仙台管区气象台発表

## <特に注意を要する事項>

この期間は冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側では大雪になる所があるでしょう。  
記録的な積雪となっていますので、多雪地ではなだれに注意してください。

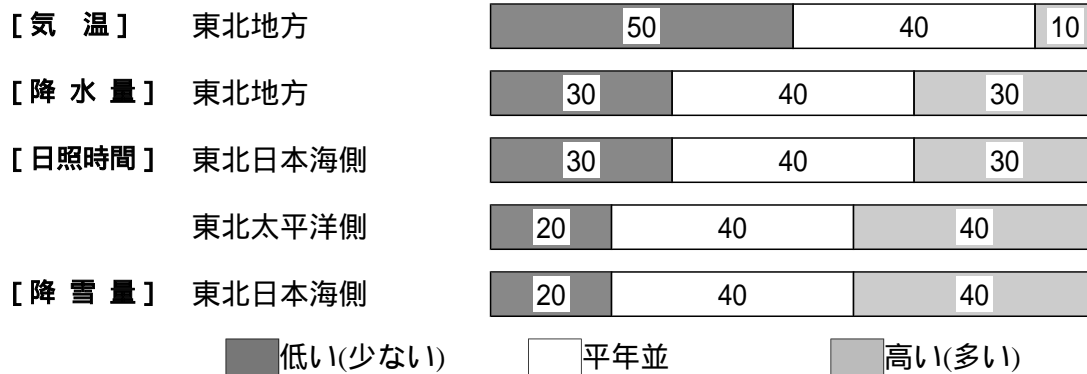
## <予想される向こう 1 か月の天候>

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と比べて晴れの日が多い見込みです。

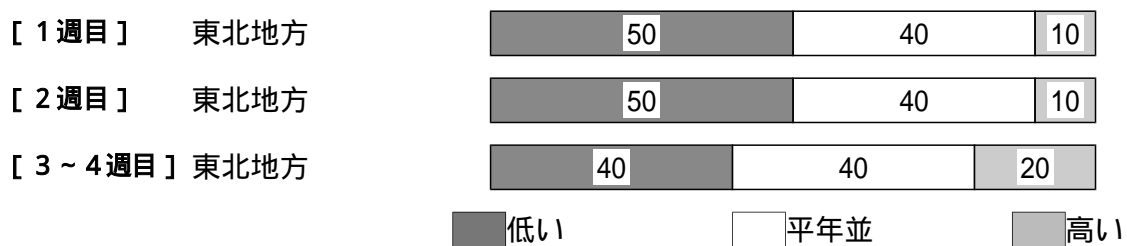
向こう 1 か月の平均気温は東北地方で低い、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並が多い、東北日本海側の降雪量は平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1 週目、2 週目は低い、3 ~ 4 週目は平年並か低いでしょう。

## <向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 ( % ) >



## <気温経過の各階級の確率 ( % ) >



## <予報の対象期間>

1 か月        :   1 月 2 1 日 ( 土 ) ~   2 月 2 0 日 ( 月 )  
1 週目        :   1 月 2 1 日 ( 土 ) ~   1 月 2 7 日 ( 金 )  
2 週目        :   1 月 2 8 日 ( 土 ) ~   2 月   3 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目   :   2 月   4 日 ( 土 ) ~   2 月 1 7 日 ( 金 )

## <次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日   1 4 時 3 0 分   次回は 1 月 2 7 日  
3 か月予報 : 1 月 2 5 日 ( 水 )   1 4 時

## < 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温( )		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	0.5	53.4	156.4	31	0.2	0.1	0.6
新庄	-1.4	167.7	53.1	287	-1.6	-1.7	-1.2
若松	-0.8	74.9	98.0	186	-1.0	-1.2	-0.6
深浦	-0.7	84.8	43.6	136	-0.9	-1.1	-0.5
青森	-1.6	138.6	70.5	256	-1.9	-2.0	-1.5
むつ	-1.9	92.4	91.4	196	-2.1	-2.2	-1.9
八戸	-1.4	56.3	142.3	118	-1.6	-1.8	-1.2
秋田	-0.3	101.2	60.6	139	-0.5	-0.6	-0.1
盛岡	-2.2	53.6	138.0	115	-2.5	-2.6	-1.9
宮古	-0.1	74.4	169.3	71	-0.3	-0.5	0.0
酒田	1.1	132.2	54.1	143	0.9	0.8	1.2
山形	-0.7	74.3	100.9	173	-0.9	-1.0	-0.5
仙台	1.3	43.3	165.0	38	1.0	0.9	1.5
石巻	0.4	39.8	179.8	18	0.1	0.0	0.7
福島	1.3	47.4	155.2	82	1.0	0.9	1.6
白河	0.0	33.7	170.1	56	-0.2	-0.4	0.2
小名浜	3.3	55.3	196.1	0	3.1	3.0	3.5

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3 ～ +0.7	77 ～ 108	95 ～ 105	85 ～ 106
東北日本海側	-0.3 ～ +0.6	89 ～ 105	90 ～ 111	91 ～ 107
東北太平洋側	-0.3 ～ +0.7	66 ～ 110	98 ～ 103	80 ～ 109

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.9	-0.6 ～ +0.9	-0.5 ～ +0.8
東北日本海側	-0.6 ～ +0.9	-0.6 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.8
東北太平洋側	-0.6 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.9	-0.5 ～ +0.8

## < 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 33 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 30 %、40 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 18 年 1 月 20 日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (1 月 21 日～2 月 20 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と比べて晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

1 週目 (1 月 21 日～1 月 27 日) :

冬型の気圧配置が続き、東北日本海側や東北太平洋側山沿いは、曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側平野部は晴れの日が多いですが、期間の初めは、気圧の谷や寒気の影響で雪の降る日がある見込みです。

平均気温は低いでしょう。

2 週目 (1 月 28 日～2 月 3 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と比べて晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

3～4 週目 (2 月 4 日～2 月 17 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

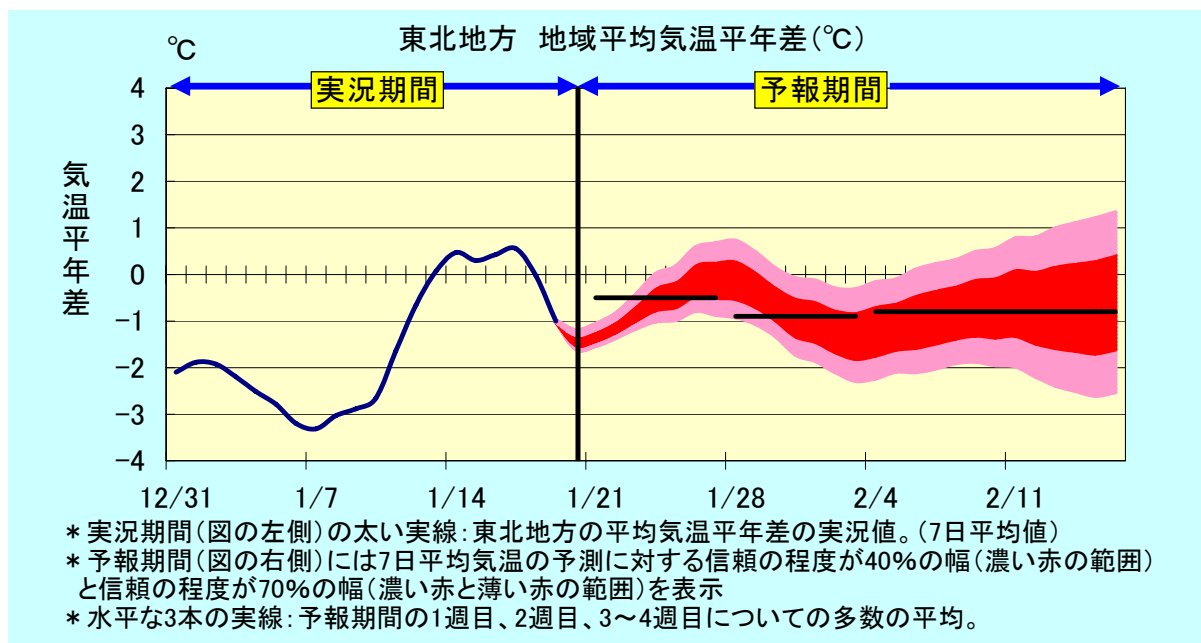
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	5.5 日	1.2 日	1.2 日	3.1 日
東北太平洋側	18.2 日	4.5 日	4.6 日	9.1 日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目を「平年並」、2 週目、3～4 週目を「低い」と予測している。予報はその他の資料から 1 週目を「低い」、3～4 週目を「平年並か低い」、とする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

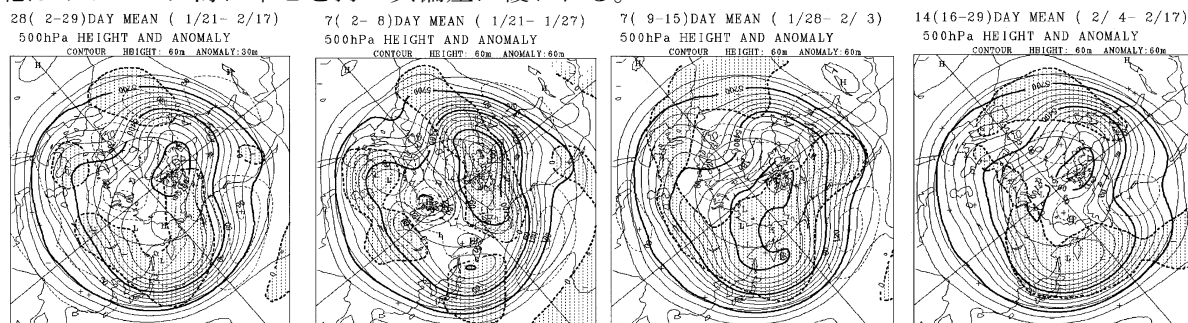


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近は正偏差、その周りは負偏差となり寒気が南下しやすく、一部が東日本以北にかかる。一方、低緯度は広く正偏差。

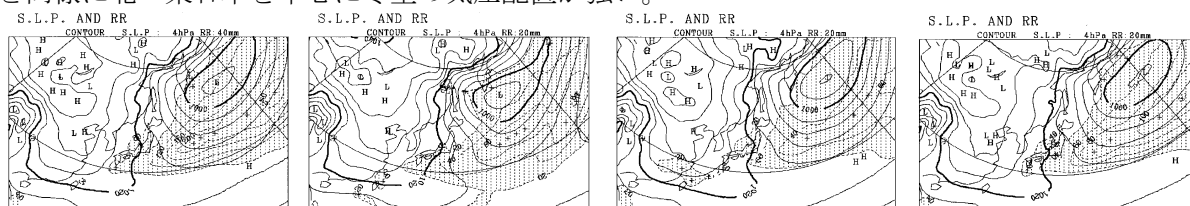
1 週目は、シベリア北部に中心を持つ正偏差がユーラシア大陸高緯度帯に広がる。東日本以東は東海上までの負偏差となる。2 週目は、オホーツク海の低圧部が明瞭で北日本は負偏差に覆われ、寒気の影響を受ける見込み。3～4 週目は、タイミル半島付近の低圧部が明瞭で、中国地方以北はオホーツク海に中心を持つ負偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、カムチャツカ半島東の低圧部がやや明瞭で、北・東日本を中心に平年よりやや冬型が強い。降水域は本州の東海上沖が中心。

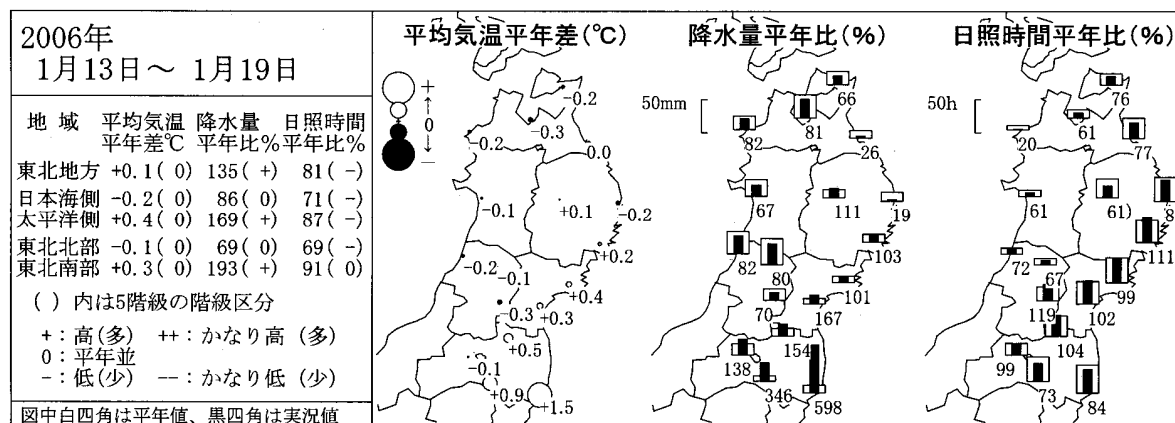
1 週目は、冬型の気圧配置で、カムチャツカ半島の南の低気圧がやや強い。降水域は日本の東海上沖。2 週目は月平均とほぼ同様の冬型の気圧配置で北・東日本を中心に冬型が強い。日本海側に降水域がかかる。3～4 週目は、カムチャツカ付近の低圧部がやや弱まるものの、ほぼ 2 週目と同様に北・東日本を中心に冬型の気圧配置が強い。



### 4. 最近 1 週間（1 月 13 日～1 月 19 日）の天候の経過

期間のはじめは気温が高い日があったが中頃から再び寒気が南下し気温の低い状況となった。13日から14日には、二つ玉低気圧が接近通過し曇りや雨又は雪となった。低気圧の通過後は高気圧に覆われたが、16日からは再び冬型の気圧配置となって寒気が南下した。19日はオホーツク海の低気圧が発達し冬型が強まり東北地方は強い風となったところがあった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）